

# 主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	産業建設部
	20007	亀山版持続化給付金支給事業	課名	産業振興課 商工業・地域交通G
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上	会計	01:一般会計
	基本施策	02:地域に根ざした商工業の活性化	款	07:商工費
	施策の方向	03:市内事業者の経営力の向上	項	01:商工費
戦略プロジェクト	-	目	02:商工業振興費	
事業予定期間	R 2 ~ R 2 年度		主な根拠法令要綱等	

目的・概要	対象	市内中小企業者、小規模企業者等及びフリーランスを含む個人事業者
	目的	新型コロナウイルス感染症の発生により、売上高が大幅に減少している事業者に対して、事業の継続の下支えをするため、国の「持続化給付金」が支給されるが、その対象とならない事業者に対して、事業全般に広く使える給付金を支給する。
概要	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、令和2年1月以降において1か月の売上が前年同月比で30%以上50%未満減少など対象となる事業者に給付金を支給する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画		○市内中小企業者、小規模企業者等及びフリーランスを含む個人事業者へ給付金の支給 ・法人 30万円 ・個人事業者 10万円		
	年度実績		市内中小企業者、小規模企業者等及びフリーランスを含む個人事業者へ給付金の支給(95件) 19,300,000円 ・法人(49件) 14,700,000円 ・個人事業者(46件) 4,600,000円  事業のPR ・市広報、ケーブルテレビでの周知 ・商工会議所会報誌での周知 ・ホームページへの掲載		
事業の計画・実績	計画額	事業費		105,000千円	
		国庫支出金		105,000千円	
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	0千円	0千円	0千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費	0千円	20,630千円	
		国庫支出金		20,630千円	
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	総人件費	0千円	3,920千円	0千円	
	一般職員	0千円	3,920千円	0千円	
	所要人員		0.50		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト( + )		0千円	24,550千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	給付金支給の数	計画値		575
		亀山版持続化給付金を支給した事業者の数	実績値		95
			単位		事業者
	名称		計画値		
			実績値		
			単位		
	名称		計画値		
			実績値		
			単位		

事業の改善	前回評価	[前回評価の対応方針の概要を記入]
	改善行動	[前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか]

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>[計画どおりに実施できたか]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生により、売上高が大幅に減少している事業者に対して、事業の継続の下支えをするため、事業実施に当たり市広報、ケーブルテレビでの周知、商工会議所会報誌での周知、ホームページへの掲載など、広くPR活動を行った。その結果、給付金の支給については、中小法人等で49件、14,700,000円、個人事業者で46件、4,600,000円となり、合計95件、19,300,000円となった。</p>	B まずまず実施できた
	成果	<p>[成果は順調に上がったか]</p> <p>本事業については、国の持続化補助金の要件である前年同月比で50%以上減少までは悪化していないものの、15%以上50%未満の間で減少している事業者に対して給付金を支給するもので、95件の申請に対して給付を行った。当初「30%以上50%未満」として事業を開始したが、新型コロナウイルス感染症の状況も勘案しながら「15%以上50%未満」と対象を拡大したこと、また申請期限を1月15日から3月31日まで拡大したことにより、少しでも多くの市内事業者の事業継続に寄与できた。しかしながら、給付金を支給した事業者数については、計画値を大きく下回った。</p>	C あまり成果を得られなかった

今後の対応方針	課題	<p>[課題は何か]</p> <p>当初575社を対象事業者と見込んでいたが、想定よりも国の持続化給付金の対象(前年同月比で50%以上減少)となる事業者が多かったため、申請件数は95件に留まった。本事業に関わらず、対象者数を予測するのは困難である。</p>	<p>今後の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 拡大</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他</p> <p>[その他の場合、その内容を記載]</p> <p>新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響を見極めながら、必要な対策を講じる。</p>
	対応	<p>[課題に対し、どのように対応するか]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による経済対策については、経済の停滞期に実施する本事業のような給付金や支援金などの経済支援対策と、回復期に実施する亀山エール飯チャレンジ事業やプレミアム付商品券などの消費喚起対策の大きく2つに分けられ、状況を見極めながら必要な対策を講じていく。</p>	
	効果	<p>[対応することで、どのような効果が期待できるか]</p> <p>市内事業所の経営継続を支援し、この状況を乗り切ってもらい、収束後に経営が回復して安定することで、地域経済の活性化に繋がる。</p>	
対応時期		-	

【1次評価者】	産業建設部 産業振興課 商工業・地域交通グループリーダー 井上 和哉
【最終評価者】	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	/	/	/	B	
	成果	/	/	/	C	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		105,000 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	105,000 千円
	令和3年度への繰越額	千円